《学校から見える山》2017 年度解説文

寒河江市立三泉小学校の皆さんへ

はじめに

このたび私たち日本山岳会山形支部が三泉小学校の皆さんに《学校から見える山》をプレゼントします。といっても本当の山をプレゼントするわけではありません。そんなことはできません。皆さんにさしあげるのは《学校から見える山》の 2 枚の絵です。どうしてかというと、みなさんが朝夕ながめている山と友だちになってもらいたいと思ったからです。

一枚目は三泉小学校の東に見える三枚続きの山の絵です。これは寒河江市内の長岡山から見て描いた「展望図」です。みなさんがふだん見ている風景ですね。もう一枚は三泉小学校の上空から見た西の山です。ちょうど鳥が高いところから見下ろしたような絵です。これを「鳥(ちょう)かん図」といいます。ふたつの絵を描いてくださったのは酒田市にお住いのイラストレーター、木山由紀子さんです。木山さんはヘリコプターに乗ったり、ドローンを使ったりしてこの絵を描いたのではありません。木山さんは地図を見るのがとても好きな方で、地図を見ていると、そこに描かれている地形が立体的に目に浮かんでくるのだそうです。すてきだと思いませんか？木山さんは地図を見ながら自由にその上空を飛びまわれるのです。この二つの山の絵を見ながら皆さんと一緒に山と遊びたいと思います。

1．カール・ブッセの詩「山のあなた」

ところで皆さんはドイツの詩人カール・ブッセが書いた「山のあなた」という詩を知っていますか。有名な詩なので、どこかで聞いたことがあるかもしれません。ドイツ語の原文を 上田(うえだ) 敏(びん) という方がほん訳したものです。

山のあなた

カール・ブッセ

山のあなたの空遠く
「幸(さいわい)」住むと人のいう。
噫(ああ)、われひとと 尋(と) めゆきて
涙さしぐみかえりきね。
山のあなたになお遠く
「幸(さいわい)」住むと人のいう

私たちが使っているものより少し古い言葉なので、ちょっと説明しておきます。
「山のあなた」の「あなた」は「はるか向こう」という意味です。目の前の相手をさすあなたではありません。「幸」住むと人のいう，は「そこ幸福があると、人びとがいっている」という意味です。「ひとと尋(と) めゆきて」というのはある特定の人、たとえば友だちといっしょに幸福をさがしに行ったのだけれど、ということです。でもそこには幸福というものはなかった。それで、「涙さしぐみ」、つまりほほを涙でぬらして帰ってきたというのです。でも人びとはなお、山の向こうには幸せがあるのだといっている。そんな意味の詩です。

皆さん、この詩を読んでどんなことを考えましたか？幸せはどこにあるのでしょうね。山の向こうにあるのでしょうか？それは皆さんが考えてください。ただ、今も昔も、そしてどの国の人びとも、山を眺めては、その向こうには何があるのだろうと、山の向こうの世界を想像してきたのではないでしょうか。たとえば平安時代の人びとは、阿弥陀(あみだ) 如来(にょらい) というありがたい 仏様(ほとけさま) が西の山の向こうから金色の雲に乗って、戦乱や 天災(てんさい) や病気などで苦しんでいる人たちを助けにやってくるのだ、と信じていました。みなさんはどんなことを想像しますか？

２ 東北の背骨（せぼね）・奥羽山脈（おううさんみゃく）

山の名前

三枚続きの展望図を見てください。学校の東側に見える山やまです。これらは奥羽山脈と呼ばれ、東北地方の背骨のような山脈です。この山脈は秋田県と岩手県の間をとおって、青森県まで長くのびています。展望図の右はじは蔵王連峰のひとつ中丸山、左はじが 甑岳（こしきだけ） です。高い山が全部で35、町に近い低い山が６つ示されてあります。これらの山は古い、新しいはありますがほとんどが火山です。ずいぶんたくさんありますね。高さだけで山の名前がしるされていないものもあります。でもこれらの山にもみんな名前があるはずです。人間にひとりひとり名前があるように、山もみんな名前をもっているのです。どうしてでしょう。昔から山は人間の暮らしに深くかかわってきたからです。たとえばひと昔前、人びとは山の木を切って炭を焼き、日常生活の燃料としてつかってきました。また山から流れてくる水を田んぼに引いて稲を育ててきました。ですから山は人びとの暮らしにとって大切な場所だったのです。それは今も同じです。石油、ガス、電気を使うようになったので山の木を切って炭を焼くことはほとんどなくなりました。でも水はやはり山のめぐみです。みなさんが毎日飲んだり使っている水は月山や朝日連峰（れんぽう） にたくわえられたものです。人びとが石油や石炭などを使うようになったなめ炭酸ガスが増え、大気の温度が上がる地球温暖化が問題になっています。温暖化が進むと、海面が高くなり、低い土地が沈んでしまったり、農業、漁業などにも大きな影響がでてくることが心配されています。でも、山の木々は大気中の炭酸ガスを吸いとり、酸素を出してくれます。ですから温暖化を食い止める役目もはたしているのです。このように、わたくしたちが毎日ながめている山は、わたくしたちと深い関係があるのです。

そんな山と友だちになって欲しいと思います。山と友だちになるなんておかしいですか？みなさんは猫が好きになったり、犬を飼っている人は毎日犬と散歩しますね。動物と友だちになれるように、山とも友だちになれるのです。みなさんは人間の友だちがたくさんいますね？ところで、初めてあった人と友だちになりたいと思ったとき、まず最初にす

ることは何ですか？そう、その人の名前を覚えることですよね。「あの子、あの人」ではなく、ちゃんと名前を覚えて名前で呼びあうことが、初めて会った人と親しくなるはじまりです。それはとてもだいじなことです。道ばた咲いている花も名前を知るまではただの花です。でもハルジオン、ミゾソバ、ノコンギク（野菊のこと）などという名前を覚えただけで、あなたはその花と友だちになれるのです。山も同じです。山の名前を覚えると、その山がいつのまにかあなたの友だちになるのです。友だちになれば、その人のことが気になりますよね。たとえば友だちが学校を休んだりすると、いったいどうしたんだろうと心配しますね。あなたが山の名前を知っていると、その山を見て、ああ、雪が降ってきれいになったね、と思うようになうでしょう。あなたがそう思ったら、それはあなたがその山と友だちになったしるしなのです。

絵の中の山のどれか一つを選んで、その山の名前を覚えて、絵と実際の風景を見くらべ、その位置を確かめてください。それがあなたの友だちになるかもしれない山です。天気のいい朝にその山が見えたら、お早うとあいさつしてください。友だちにあいさつするようにです。

3. 峠（とうげ）と扇状地（せんじょうち）

峠

奥羽山脈の連なりをよく見ると、少し低いところがあります。そこは昔から人々が行き来した峠です。展望図には、南から、笹谷峠、二口峠（ふたくちとうげ）、関山峠と 3 つの峠がのっています。この中でとくに笹谷峠と関山峠は山形県と宮城県を結ぶ大切な交通路です。みなさんも知っている通り、現在、笹谷峠の下には高速山形道、関山峠は国道 48 号線のトンネルになっています。展望図にはのっていませんが、そのほかにもいくつか徒歩でしか越えられない峠もあります。自動車や電車がなかった時代に、奥羽山脈を越えて宮城県側と行き来することは大変な苦労だったのです。

梅雨の季節に、湿って冷たい風が奥羽山脈を越えて、山形盆地（ぼんち）に流れてくることがあります。この風を「やませ」と呼んでいます。やませは白い滝のような雲を作って山形盆地に流れ落ちます。この雲は滝雲（たきぐも）と呼ばれています。みなさんもきっと見たことがあると思います。滝雲も人間と同じように峠を越えてきます。夏にこの雲が発生すると気温が上がらず、稲の穂がみのらなくなるので、おそれられていました。

扇状地（せんじょうち）

展望図の奥羽山脈のすそ野を見てください。山形市、天童市、東根市、村山市などの街並みが見えますね。そして街並みの山に近い方が高くなっています。この地形を扇状地と呼んでいます。山の間を小石や砂を運んで勢いよく流れてきた川が、なだらかな平野にでてくると流れのいきおい

がなくなり、運んできた小石や砂を残して下流に流れていってしまいます。その小石や砂がちょうど扇を広げたような形に広がるので、扇状地という名前がつきました。みなさんの学校も寒河江川の扇状地の上にあります。山形市の 馬見ヶ崎川、天童市の 乱川、東根市の 野川 などはそれぞれ扇状地を作っています。扇状地では川の水が地下にもぐりこんでしまうために、水が不足して、水田には向いていません。でも樹木なら良く育ちます。ですから扇状地にはサクランボやリンゴ、ブドウなどの果樹が植えられるようになったのです。山形県が果樹王国とよばれるのは、実はこの扇状地という地形が大きな役割をはたしているのです。みなさんが住んでいる三泉地区もおいしいサクランボの産地ですよね。

4 月山と葉山

もう一枚の絵を見てください。みなさんの学校の上空から西の方を見た風景です。ヘリコプターから見た風景ではありません。イラストレーターの《心の目》に映った風景なのです。みなさんも地図をよく見るとその風景を思い描くことができるのです。行ったことがない場所、行きたい場所の地図さえ持っていれば、どんなところにでも行ってしまえるのです。みなさんも地図と仲良くなってください。

さて、この鳥かん図に描かれているのは月山と葉山です。この二つの山は山形県のほぼ中央にあります。そして二つとも火山です。二つの山は兄弟みたいですね。高い方の月山が弟で、葉山はお兄さんです。というのは葉山の方が古い火山だからです。月山は出羽三山のひとつで死者の霊が集まり私たちを見守るところと考えられてきました。昔は男の子が成人になる儀式として 15 歳になると月山に登りました。絵には標高 1500mの 湯殿山 という山がありますが、その山のふもとに茶色の 巨岩 があり、そこから、こんこんとお湯がわき出ています。その岩そのものが湯殿山とよばれています。湯殿山はひとびとが生まれかわるところと考えられ、昔は、東北地方だけでなく、遠くは関東地方からも、多くの人々がお参りにやってきました。私たちのまわりでも「湯殿山」と 彫 られた 石碑 を見つけることができます。湯殿山は昔から大変な人気スポットだったのです。

いっぽう、葉山は古くから農業を守る仏さまのいる山と考えられてきました。その登り口の一つに 大円院 という大きなお寺があったのですが、現在は土台の石や井戸などが残っているだけです。絵の中でその寺のあとを探してみてください。標高 1461mの葉山は寒河江市で一番高い山で、とてもながめのい

い山です。きかいがあったら、ぜひ登ってみてください。月山より低い山ですが、静かで、なかなか風格のある山です。葉山に登ればみなさんの住んでいる三泉地区や学校が見えるでしょう。そして、みなさんはきっと葉山と友だちになり、この山が好きになるでしょう。そうなってくれることを願って、この絵をみなさんにプレゼントします。

日本山岳会山形支部について

日本山岳会は日本で一番古く、一番会員の多い山岳会です。現在 33 の支部があり、そのひとつが山形支部です。私たち会員は、山のことを研究したり、一緒に山登りを楽しんだり、山登りの楽しさを多くの人に知ってもらう活動をしています。

（文：日本山岳会山形支部会員　粕谷俊矩　絵：木山由紀子）

公益社団法人　日本山岳会

〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-4　℡03-3261-4433　fax　03-3261-4441

URL http://www.jac.or.jp　e-mail jac-room@jac.or.jp

日本山岳会山形支部　支部長　野掘嘉裕

〒997-0166　鶴岡市羽黒町三ツ橋字向田 204　℡0235-62-2182

日本山岳会山形支部　事務局　佐藤一広　　〒997-0034　鶴岡市本町 2-6-9

℡0235-22-4079　e-mail ymg@jac.or.jp